

## ～魅力ある求人票を作成するために～

日頃より公共職業安定所の業務運営につきましては、格別のご協力を賜り厚くお礼申し上げます。以下は学生や先生方と直接話す機会が多い学卒担当者が、会話の中で求人票について感じたことをまとめてみました。ぜひ、求人票を作成していただく際の参考にご活用いただけたらと思います。

### 仕事内容は誰にでも分かりやすい言葉で

社内で何気なく使用する専門用語は、学生たちには理解ができず仕事のイメージがつかめません。その結果、「(求人票の)仕事内容が分からないから興味を持たず応募をしませんでした」「(理解できない言葉で)仕事内容が難しそうなので自分には無理だと思いました」と話す学生も多いです。また、カタカナ言葉<sup>※1</sup>も「難しそうなお仕事」と感じる学生もあり、難しい言葉の求人票は避けてしまう傾向が強いです。仕事内容の書き方によっては、先生方からも「仕事内容を詳しく理解できず、学生への説明に苦労する<sup>※2</sup>」と伺っております。仕事内容は学生にも分かりやすい言葉や表現で記載してください。

※1 「オペレーター」「プラント」「マネジメント」「メンテナンス」「インフラ」など

※2 電気に関する業務全般×→屋内配線○、介護業務全般×→食事・排せつ・入浴・散歩の介助○

### 求人票はありのまま

「求人票より残業が多かった」「求人票より休みが少なかった」など、求人票と勤務状況が異なる理由での早期離職者が増えています。学生たちは、卒業後も離職した後に学校へ再就職の相談をするケースが多く、次年度以降の採用活動に影響する可能性があります。ちなみに求人票では仕事内容、給料、就業場所、休日数、福利厚生、新卒等離職者数、平均継続勤続年数、時間外(残業)などの項目をチェックしている学生が多いようです。

### イメージしやすい求人票を

仕事内容は、文字よりも画像があるとイメージがつかみやすいです。学校へ求人票を送付する際に、仕事内容・製品・商品・職場環境など仕事内容に関連するパンフレットや写真を添えていただくと、学生も先生方も仕事内容や事業所のイメージがつかみやすくなります。また、興味のある求人票をみつけたら、同時に事業所のホームページやSNSからイメージを膨らませる学生が多いようです。



高校1～2年生の頃にインターンシップへ参加する学生も多く、職場体験や事業所の方々と触れ合えると、仕事や職場に興味を持ち、就職先を選びやすくなります。横須賀市のホームページでは、インターンシップ受け入れ可能企業の紹介をしています。企業情報の掲載を希望の場合は、企業情報シートをダウンロードいただき、掲載依頼をしてください。  
(問い合わせ先：横須賀市 経済部経済企画課)

特に高校生は、一定期間1人1社しか応募ができません。選考が長引いてしまうと就職活動が足止めされ、その後の就職活動に影響が出てしまいます。可能な限り選考結果は早めに通知して下さるようお願いいたします。



# 先生に聞いてみました！ 職場見学の見学ポイントあれこれ

職場見学を終えた学生の中には「見学をさせていただいたけれど何か違う」と感じ、応募を止めてしまう学生も少なくありません。そこで、職場見学を終えた学生の実際の声を先生方に伺ってみました。

先生方は「職場の雰囲気」として、主に事業内容や仕事内容、職場環境・提供しているサービス、製品・商品などを指して見学してくるよう指導しているようですが…

しかし、実際に学生たちの事業所見学の感想を聞いてみると

「社員さん同士のコミュニケーションがとれていた」「親切にしてくれた」

「和気あいあいと楽しそうに仕事をしていた」「きれいな職場だった」

「社員さんが笑顔で話しかけてくれて、緊張したけれど話ができて楽しかった」

「積極的にあいさつをしてくれて嬉しかった」 など、好印象な感想から



「あいさつを返してもらえなくて、社員さんたちが冷たい（怖い）印象だった」

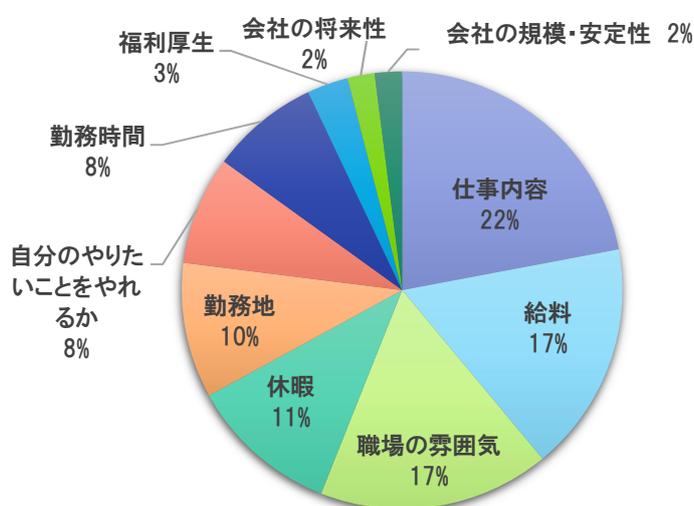
「製品（商品）の扱い方が乱暴で怖かった」

「整理整頓がされていなくて、働く場所が汚いと感じてしまった」 など

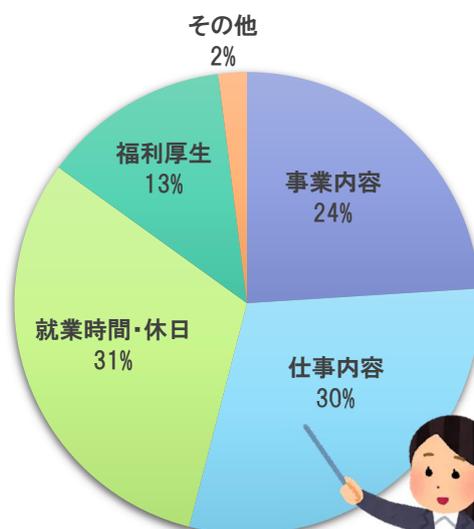
あまり良い印象を持てなかった感想まで、多くの学生が「社員の働いている姿」や「事業所の清潔さ」が印象に残るようでした。

職場見学では学生と比較的年齢の近い社員に應對をしていただけると、学生に近い視点ということもあり、社員や会社に親近感を持ちながら話を聞くことができます。その結果、参加した生徒から「話しやすかった」「入社後のイメージを持つことができた」「自分も頑張れそうな気がする」といった声を聞けるようです。下記のグラフは「令和4年度高校生就職フェア」で生徒に行ったアンケートの結果です。ぜひ、求人票を作成する際や、職場見学で学生を迎え入れる際の参考にしてください。

## 就職先を決めるときの条件を教えてください



## 事業所の担当者から、より詳細に説明を聞きたいことは何ですか



職場の雰囲気、就業規則、髪色・髪型・ネイルなどについても挙げる生徒がおり、「実は気になるけど聞きにくい…」といった項目も積極的に説明してもらえると参考になると話す生徒もいました。



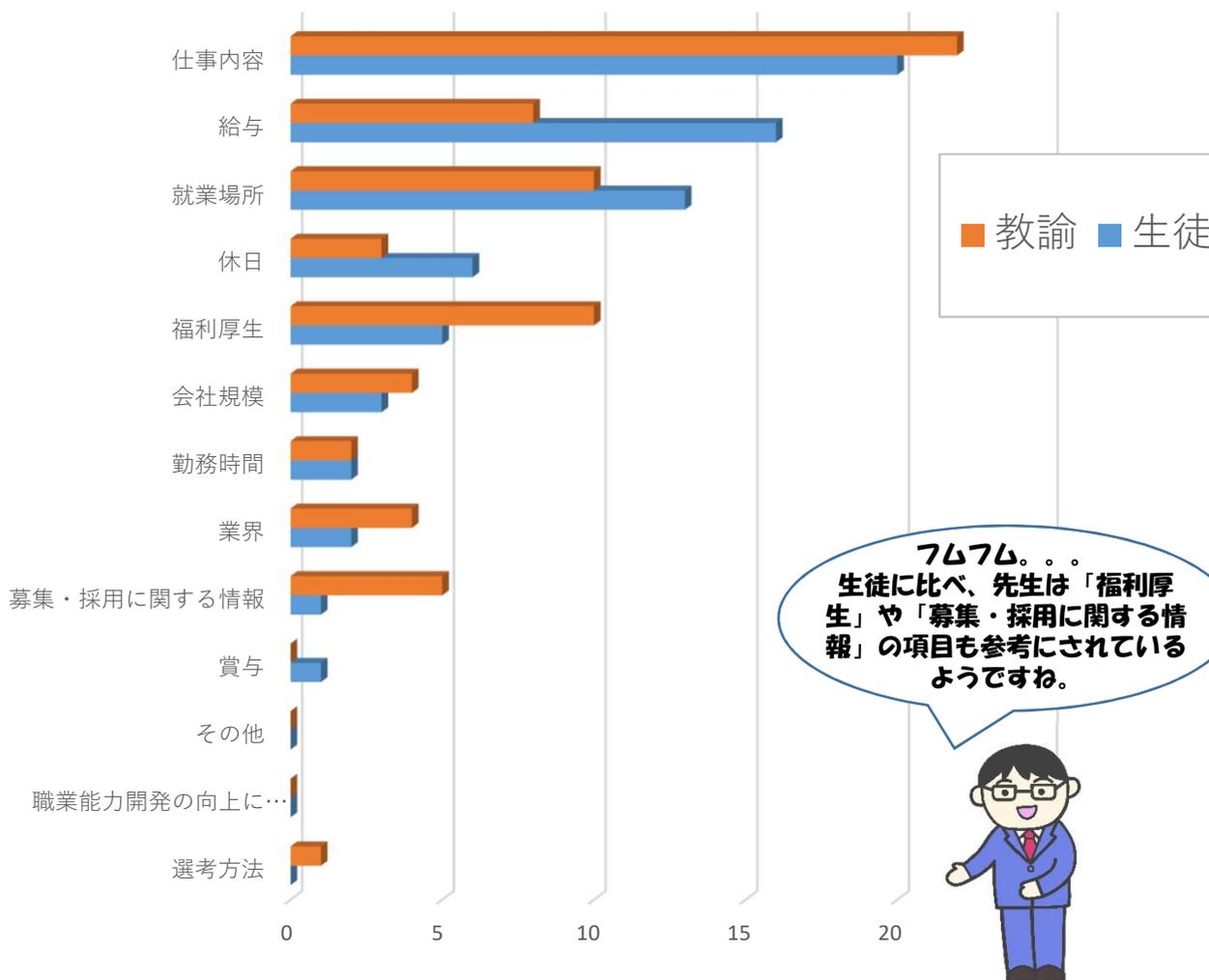
## 高校の先生に突撃Interview！！

ハローワーク横浜南、ハローワーク横須賀管内の  
高等学校19校、23名の先生にアンケートにご協力いただきました。



Q1. 生徒・先生は、それぞれ求人票のどの項目を優先（重視）して応募する企業を選んで  
いますか？

企業選びで重視する求人票の項目



でも、仕事内容を一番に  
考えているのは、  
生徒も教諭も同じだね。  
もう少し詳しく  
聞いてみましょう！！

## Q2.生徒はなぜ「仕事内容」を優先（重視）していると思いますか？

- 自分ができる仕事か（活躍するイメージがあるか）を判断している。
- イメージが付きやすいものを選びがちです。
- やってみたいこと（やりたくないこと）から企業を探す生徒が多い。
- 仕事内容が自分に合っているか、できるのか、という視点で考えている生徒が多い印象を受ける。
- どんな仕事なら自分にできそうかの不安が大きい。

## Q3.先生が「福利厚生」や「募集・採用に関する情報」を重視しているのはなぜですか？

- 将来的な展望を元に、継続して務められる仕事を選んで欲しいため。
- 生涯働く企業として選択する為に重要と考える。
- 離職率、福利厚生など高校生には馴染みがないので、生徒が気づかない視点で指導している。
- 就職後の定着率から職場の落ち着き具合を推測して続けられそうか判断をしている。

「仕事の内容が高校生にもわかりやすく」  
書かれていることや  
「長く働くことができる会社」と  
イメージできることが大事なんですわ！！



## Q4.他に、求人票に記載して欲しいことなどがあったら教えてください。

- 同じ職種でも他社との違いがわかるような記載があると参考になります。
- 仕事内容が業界・社会の中でどのような位置づけ（必要性）があるのか。生徒が使命感ややりがいを持てる仕事とイメージできるような説明があると興味を引きます。
- 研修制度についてしっかり求人票に記載されていると参考になる。
- 入社後の研修やメンター制度等が充実し、社会に出た際に十分なサポートがある会社は安心して送り出せる。



でも、  
「高校生にもわかりやすく」って  
具体的にどうしたら  
いいんだろう？

## 例1) 営業事務

Before	<ul style="list-style-type: none"> <li>•書類作成</li> <li>•電話、来客対応</li> <li>•データ入力</li> <li>•ファイリング</li> <li>•その他、付随する業務</li> </ul>
--------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

これならできそう!!



\*「誰のために・・・」、「どんな目的で・・・」など具体的な要素を取り入れて担当業務を説明

\* 始めからできなくても努力すれば自分にもできると思える要素をプラス

After	<p>【営業事務】 営業担当の指示により事務的なサポートをする仕事です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>•営業で使用する資料(プレゼン資料・契約書・見積書・納品書など)の作成</li> <li>•取引先からの電話対応(注文受付・在庫確認・営業への取り次ぎなど)</li> <li>•受注情報のPC入力、日報の作成</li> <li>•欠品の納期調整</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p> <p>※補助的な業務から始めて、経験を積み事務処理能力をUPしていきます。 新入社員研修も充実していますので安心してご応募ください。</p>
-------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

## 例2) 化学製品製造オペレーター

Before	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 各種装置の運転・制御</li> <li>• コントロールパネルの監視</li> <li>• 緊急時の対応</li> </ul>
--------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------

\* 高校生が知っている製品の名前や製品を作るための材料となるなど身近にある具体的な名前を示すことで興味を引く



\* 製品をお客様に届けるために不可欠な仕事であることを説明し「使命感」や「やりがい」があることを説明する

成長した自分がイメージできた!



After

化学工場で各種装置を運転・制御して、皆さんが●●で聞いたことのある●●を製造する仕事です。

- 原料を製造装置に投入・加熱・冷却・攪拌する機械の操作
- 製造した化学薬品を充填する機械の運転・監視
- 中央制御室でコントロールパネルを監視し、さまざまな装置や機械の運転・操作をする
- 製造工程で異常な事態が生じた時の対応(マニュアルに則して原料の供給や温度、圧力などを操作し、化学反応をコントロールするなど)

お客様に安全な製品を安定的にお届けするために欠かせない業務です。  
先輩社員の指導により徐々に仕事を覚えていただきます。  
将来、すべての製造工程を把握・管理できるベテラン社員に成長できます。

仕事内容の説明に困ったら・・・



を使ってみてください。



〈参考〉厚生労働省作成資料「職業人生の長期化・多様な働き方が広がる中での人材開発・キャリア形成（ミドル世代以降、若年層について）」より抜粋

## 初職を辞めた主な理由

- ◆ 初めて勤務した会社を辞めた理由としては、「賃金の条件がよくなかった」、「労働時間・休日・休暇の条件がよくなかった」、「人間関係がよくなかった」が高くなっており、また、「仕事が自分に合わない」、「1つの会社に長く勤務する気がなかった」が増加傾向。

表17 性・年齢階級・最終学歴・雇用形態・初めて勤務した会社での勤続期間階級、最終学校卒業後初めて勤務した会社をやめた主な理由別在学していない若年労働者割合

(単位：%) 令和5年

性・年齢階級・ 最終学歴・雇用形態・ 初めて勤務した会社での勤続期間階級	初めて勤務した会社をやめた理由(複数回答3つまで)	初めて勤務した会社をやめた主な理由(複数回答3つまで)																		
		不明	その他	雇用期間の満了・ 雇止め	倒産・整理・解雇又は 希望退職に応じたため	1つの会社に長く勤務 する気がなかったため	家業をつぐ又は 手伝うため	独立して事業を 始めるため	介護・看護のため	結婚・子育てのため	健康上の理由	不安定な雇用状態が 嫌だった	人間関係が よくなかった	労働時間・休日・休暇 の条件がよくなかった	賃金の条件が よくなかった	会社に将来性がない	ノルマや責任が 重すぎた	責任のある仕事を 任されなかった	自分の技能・能力が 活かされなかった	仕事が自分に 合わない
総数 <sup>1)</sup>	[ 42.7 ] 100.0	21.7	6.9	1.4	15.2	11.5	21.8	28.5	26.4	5.8	9.4	12.1	0.9	0.3	1.0	5.5	3.0	3.0	16.1	6.3
平成30年調査	[ 47.4 ] 100.0	20.1	7.7	1.4	13.9	12.0	23.4	30.3	26.9	7.0	9.2	10.8	1.3	0.5	1.0	3.6	2.5	5.4	15.3	5.5
平成25年調査	[ 47.2 ] 100.0	18.8	7.9	1.8	11.1	12.4	18.1	22.1	19.5	8.7	8.2	9.5	0.9	0.9	1.1	4.0	4.4	4.5	17.0	9.7
男	[ 38.6 ] 100.0	24.8	8.6	1.5	14.8	14.3	23.5	27.2	26.0	5.0	8.5	6.1	0.7	0.7	1.2	4.9	2.5	3.9	17.3	6.8
女	[ 46.3 ] 100.0	19.4	5.7	1.4	15.6	9.4	20.4	29.5	26.7	6.3	10.1	16.5	1.0	0.1	0.9	5.9	3.4	2.4	15.1	5.9

注：[ ]は、在学していない若年労働者を100とした初めて勤務した会社をやめた若年労働者の割合である。

1) 表例「総数」には、「年齢階級」「雇用形態」「初めて勤務した会社での勤続期間階級」不明が含まれる。

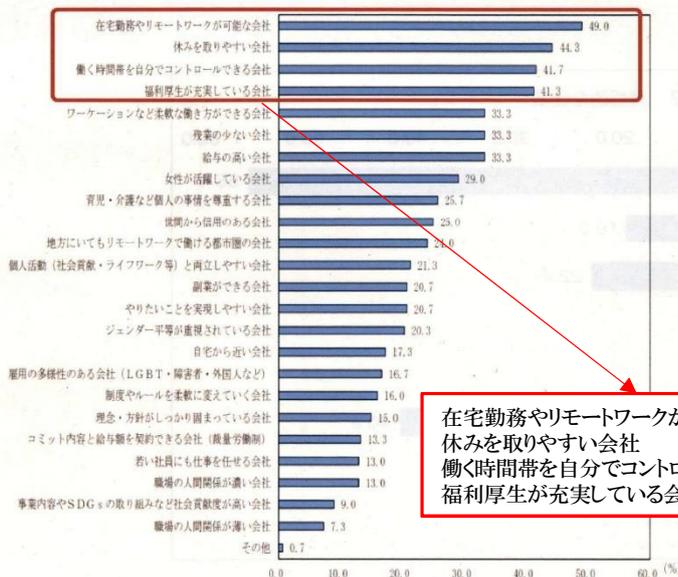
(資料出所) 厚生労働省「令和5年若年者雇用実態調査の概況」

令和6年11月29日 第35回労働政策基本部会 事務局提出資料

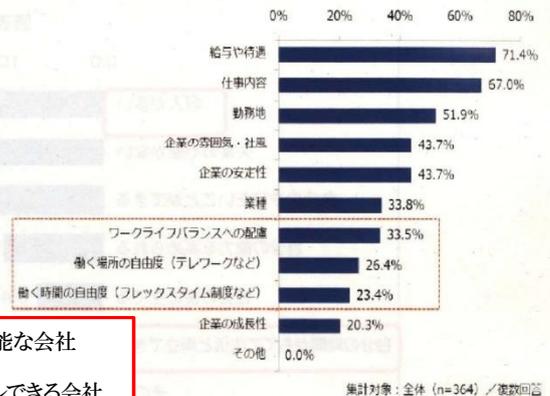
## 若年層が就職先に求めるもの

とりわけ、在宅勤務やリモートワーク、ワーケーションなどの柔軟な働き方に対する意識が高くなっている。

第1-3-12図 20代の学生が働きたいと思う会社



【図表1】就職活動で企業を選ぶ際に重視する条件



在宅勤務やリモートワークが可能な会社  
休みを取りやすい会社  
働く時間帯を自分でコントロールできる会社  
福利厚生が充実している会社

サイマックス総研「首都圏就活生の企業選びに関する意識調査2024」より

(備考) 1. ビッグロップ株式会社「ニューノーマルの働き方に関する調査」(調査期間 2020年9月10日~14日)。

2. 回答者は、全国の20代の学生300人。複数回答。